

派 遣 報 告 書 (報 告 者 ; 中 屋 敷 大)

大会名	令和6年度国民スポーツ大会 第44回九州ブロック大会
開催地	宮崎県
日 時	令和 6年 8月24日(土) ~ 25日(日)
担当ゲーム1	(成年男子) 沖縄(沖縄) vs 長崎(長崎)
相手審判	CC: 紀伊 孝哉(長崎) U1: 荒木 晋之(福岡) U2: 中屋敷 大(大分)
(担当ゲーム1) Pre-Game Conference	
<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルプディフェンダーの確認 ・ペイシエント・ケイデンスの確認 ・ゲームフローを意識する 	
(担当ゲーム1) Post-Game Conference	
<ul style="list-style-type: none"> ・序盤にクルーの気持ちが高ぶり、トリプルコールやダブルコールが出てしまった。しかし、すぐに修正し、プライマリのシングルコールに戻すことができた ・タイムアウト時にすり合わせのためのコミュニケーションが取れたのでメカの部分でストレスなくスムーズに行えた ・ゲームフローを意識し、何か起きそうな時には笛が入り良いテンポセットを示せたと思う。後半は、そのメッセージが選手にも伝わり、特別なテンポセットすることもなく、ナチュラルインターバルの時間が長くなりよかった 	

担当ゲーム2	(少年男子) 福岡(福岡) vs 大分(大分)
相手審判	CC: 甲木 善徳(福岡) U1: 薮崎 康平(熊本) U2: 中屋敷 大(大分)
(担当ゲーム1) Pre-Game Conference	
<ul style="list-style-type: none"> ・ペイシエント、ケイデンスを意識 ・ヘルプディフェンダーを意識 ・エッジなどのプライマリの確認 	
(担当ゲーム1) Post-Game Conference	
<ul style="list-style-type: none"> ・ペイシエント、ケイデンスを少しずつではあるが取り組めた ・UFのクライテリアをどれに当てはめた方が良いのかをもう一度確認する必要があった ・後半になるにつれファウルの数も減り、スムーズなゲーム展開をすることができた 	

今大会に参加しての感想など
<p>今回はA級の実技講習もかねており、CCM(クルーチーフメンタリティ)やエッジ(年齢、性別、ライセンス)を超えてということを取り組んだ。タイムアウトやハーフタイム時には、クルーでコミュニケーションを取り、持っている情報を共有したり、ベンチや選手のインテンシティなど共有したりし、基準のすり合わせが積極的にできたのは良かった。個人的には、もう一度プライマリ、ペイシエント、ケイデンスを継続して取り組む必要があると感じた。特にトレイルの時には、ビックピクチャーとして見えているからこそ、吹き急ぐことなく、まずはプライマリに委ねるクルーワークをもう一度意識しないといけないと思った。また自分の担当以外で試合の講師からの反省を聞くことで、新しい発見やさまざまな引き出しが増えたので今後の審判活動に活かしていきたい。ノイズが入った時の審判のメンタリティなどは新しい気づきとなり早速実践しようと思った。</p> <p>今回、派遣して下さった大分県バスケットボール協会の皆様、審判委員会の方々へ深く感謝し報告とさせていただきます。</p>